

越前町議会・令和8年6月定例会一般質問【伊部 良美議員】

(令和8年6月9日 午前10時40分 開始)

- 12番（伊部良美君） 議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

越前地区住民の病院の通院を地域で支援をと、越福ドリームライン協議会が発足され、5月16日午前10時に越前コミュニティセンター前でセレモニーが開かれ、地元有志の車の送迎で出発進行式を執り行いました。1月から国土交通省が定めるガイドラインに基づいて試験運行を行ってきた結果として、病院への通院される患者さんから大変好評で喜ばれ、今後ともにお世話になりたいと感謝の言葉に、今後もみんなで助け合いながら地域づくりの発展に貢献していきたいと仲保会長が抱負を述べられました。

また、地域の皆さんから1口2,000円の協賛金を図り、運行への協力金の賛同者の方の支援に心より御礼を申し上げ、この場で感謝を申し上げたいと思っております。

町といたしましても、越福ドリームライン協議会の今後にご理解を賜りますことを切にお願いをし、病弱の方への心温まる支援に、越前町に住んでいてよかったと思われるように、越福ドリームライン協議会の活躍に期待を致すものであります。

6月4日の福井新聞にも掲載されていましたが、その前日の6月3日、参議院の本会議で改正地域公共交通活性化再生法が可決成立いたしました。資料も手元に届いております。今後、国の施策に本町として住民輸送サービスの向上により一層取り組まれることをお願いをするものであります。

それでは、質問に移りたいと思っております。

まず、1点目の梅浦川の河口についてお伺いをいたします。

国道305号線の改良工事などのときに、工事の土砂が雨で流されたりして河口に堆積され、漁港事務所と丹南土木事務所と交互に大雨で広がった土砂を集めた仕事や運搬作業を毎年されているのでありますが、川の流れの道筋程度の仕事で終わる状態で、高波で水の流れが塞ぐなどすると、上流の四ヶ浦郵便局まで川の水がたまり、よどむ状態になり、環境にもよくないと思われませんが、町としてどのように把握されているのかお尋ねをいたします。

- 議長（藤野菊信君） 建設理事。

- 建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井です。

それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

梅浦川の河口部につきましては、定期的なパトロールにより、本年1月中旬の風浪で砂利等が堆積し、河川の流れを阻害している状況を把握しております。

今後も引き続き現地の状況確認に努めるとともに、関係機関との情報共有に努めてまいります。

- 議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

- 12番（伊部良美君） 去年は、丹南土木事務所の順番と伺い、堆積土砂を厨の長須浜へ大型ダンプで運ばれたと思っておりますが、長須浜の海水場へ堆積土砂を投入されたのですが、土砂の中には大きな石などが混じっていて、あまり喜ばれないような話を聞いてもおります。

一方では、捨て場がないようにも聞いてもいますが、町としても、環境的にもよくないと思われますので、もっと積極的に協力して、一時でも早く県に取り除くようお願いをする考えにならないか、お尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えいたします。

長須浜海水浴場につきましては、砂浜の侵食対策としまして堆積土砂を搬入しており、地元からは一定の評価をいただいているものと認識しております。海水浴場の利用に支障が生じないよう、引き続き適切な対応に努めてまいります。

また、町といたしましては、定期的なパトロールによる状況把握に加え、堆積土砂の搬入先の調整など、関係機関との連携に努めているところでございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 私はこの件について、コミュニティセンター裏の漁業組合の事業としてHACCPの事業の入札も済み、長年の組合のドック場の建設やHACCP事業とこの事業が完成すれば、この施設を嶺北地域の拠点として供されることも聞いてもおります。国道305号との連結する道路と高低差が急勾配であり、漁港の一部を埋め立て、スロープや駐車場の建設を考えると、捨て場がないのであれば、この土砂を埋立地に利用する考えにならないかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（佐々木直人君） 産業理事、佐々木です。

それでは、ご質問にお答えをします。

議員からのご提案につきましては、令和6年9月の議会定例会においてもお答えしましたとおり、荷さばき施設の駐車場につきましては、漁業協同組合において、現計画で対応可能と伺っており、国道305号との連結道路の改良につきましても、道路管理者である越前漁港事務所は、現時点で計画はないとのことでございます。

今後、関係機関において具体的な計画が示された際には、検討をしてまいります。以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） この計画も今、あったのですが、HACCPの計画に時間もかかり、中断したりしたのですが、この件を再開するには、県のほうで時間がかかるようであるならば、仮置きしてでも元の美しい海に戻すように県に対して働きかけてはと思いますが、最後に町長のお考えをお尋ねいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） またご指摘の点も含めまして、関係機関と連携を取りながら、また適切な対応に努めてまいります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） ぜひ、こういう状態が長年続いているので、早急に県のほうへお願いをして、しっかりした美しい海に戻すようお願いをして、次に移りたいと思います。

2番目の厨地係の公有水面についてお伺いをいたします。

4年前ほどに県が測量会社に依頼をし、測量して作成した測量図を昨年さらさら土地家屋調査士で精査し、町の公有水面埋立てと国道の境界線の確認について、町として調査されたように聞いておりますが、間違いはないかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

町の公有水面埋立地と国道との境界につきましては、県が作成した測量図を基に、バイパスへの取付け道路から南側のみ町と県との間において確認を行ったところであり、今後、取付け道路から北側につきましても、順次確認を行う予定でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） これ海側の境界線の確認ができたならば、町の公有水面の認可や登記面積と合致されたのであるのか、また、山側の境界のラインもどこまでなのか示されたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

現在、県におきまして、先ほど議員おっしゃられたように、土地家屋調査士に測量調査業務を委託しており、専門的知見を踏まえた意見を聞きながら、表示登記に向けて作業中の段階です。

先ほども述べましたとおり、町と県との境界は、一部の確認を行ったところがありますので、今後、県における測量調査業務の進捗を踏まえ、その結果を基に確認いたします。

また、境界など個別具体的な事項につきましては、必要に応じて関係者と協議させていただきます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 県は、現在まで国道305号線の一部区間は未登記のままで、町と県が現況図の線で確認ができれば、この部分の登記は県が手続きを取られるかと思われませんが、町の測量などは町でと県のほうから聞いていると思っておりますが、間違いないかどうかお尋ねをします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

県から町に対し測量など促されているものはございません。県による測量調査業務が完了した際には、その結果を踏まえ、必要に応じて対応を検討してまいります。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） こういった状態の中で、町としてある方と裁判で土地の売買をされておりますが、土地家屋調査士の測量図の下で境界の確認を決められたのであるならば、町道の水際のラインはどこまでなのか示されたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井です。

お答えします。

先ほど申し上げましたとおり、測量の作業中でございます。県による測量調査業務が完了した後に、その結果を踏まえ、必要に応じて対応を検討してまいります。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 海側の境界線が現況図のラインで確定されたならば、山側の町

の公有水面の水際のラインも町道の側溝になるかと思われるが、どうなのかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

先ほどの答弁と同様、県による測量調査業務が完了した後に、その結果を踏まえ、必要に応じて対応を検討してまいります。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 町としても、ある地権者の方と裁判され、判決の下、売買をされております。その地籍図は、海側ラインは今決められた国道と町有地を境界としたならば、山側の町道の側溝になるかと思われませんが、町道の側溝と町道の中に赤道が含まれているが、誰がどう対応されるかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井です。

お答えします。

事実関係を確認した上で、しかるべき対応を考えてまいりたいと存じます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 厨地係と茂原の境界の漁港区域は未登記になっていると思われませんが、町の公有水面の登記の際、この区域だけ残されたままで、もちろん国道になった地域も未登記のままであるので、この漁港区域もそのままの状態です。道路に利用されておりますが、第一コンサルの測量図も見せない、詳細な土地家屋調査士の図面も出さない、6年間私は何をどうしているのか不思議でなりません。今後、県も町も誠意を持って取り組むよう強く申し上げたいと思っております。

茂原地区の場合は、現在の道路拡幅の工事の際に、8名の方かと思っておりますが、代替地に農林水産省の所有地の船揚場と交換手続の約束がされていたのですが、地元8人の方から要請があって、建設省へ譲り受けをし、8名の方へ移転登記を行われました。厨地係の場合も同様の手続をしながら、町としても停留所周辺について、早急に取り組んでいただきたいと思っております。

それは、答弁はよろしいです。

3点目の三崎赤井谷線の消雪工事についてお伺いをいたします。

この区間、一部365号線に接続される一部区間317メートルの急勾配の傾斜の道路の箇所だけが消雪工事が行われておりますが、この道路のひまわりの里団地に向かった上り下りの道路に、今後の消雪設備の延長の計画はどのようにしておられるかお尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

三崎赤井谷線における消雪設備の延長につきましては、水源の確保が困難なことから、現在のところ計画までには至っていない状況にあります。

引き続き機械除雪により通行等に支障がないよう努めてまいります。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 今、萩野小学校が織田小学校に統合され、児童たちはスクールバスによって送迎をされ、支障が全くないといってもいいかと思われませんが、地域の皆さん方、保護者の皆さんは、織田小学校へ行くのにこの路線を利用される機会が多くなると思っておりますが、町として延長に取り組む考えがないのかどうかお

尋ねをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（荒井基志君） 建設理事、荒井。

お答えします。

現在のところは、機械除雪による対応を続けてまいりますが、今後の状況を注視してまいります。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 町として現在の機械による除雪の体制の考えであるような回答に理解をできますが、請け負う業者も、オペレーターの獲得や維持していくのに大変な思いをされていることも伺っております。

町としても、人口減少、若者の働き手のないことも考え、将来的に厳しい環境になることも考えられますので、今後支障を来すようなことがないように行政に取り組まれるよう強く要請して、終わりたいと思います。

（午前11時1分 終了）